

長崎大学における 中国語教育の現状と今後の課題

長崎大学大学教育機能開発センター
楊 曉安

xiaoan@nagasaki-u.ac.jp



現状

1. 中国語の履修者数
2. 学生の選択理由
3. 開講数
4. 担当教員の構成
5. 授業内容と到達目標
6. 授業方法
7. 課外の勉強
8. 短期留学

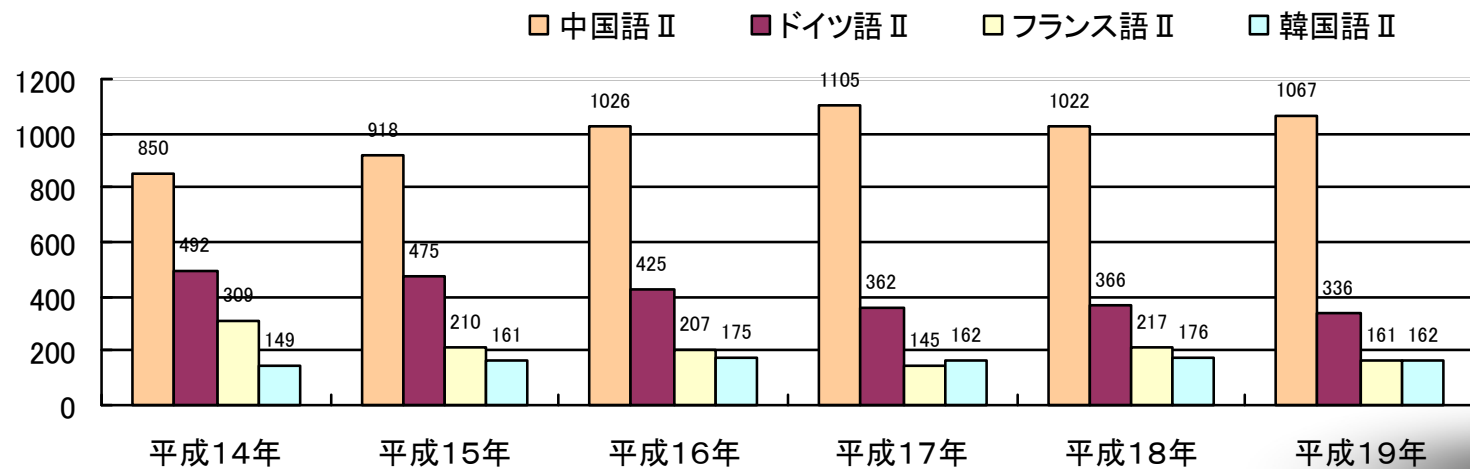
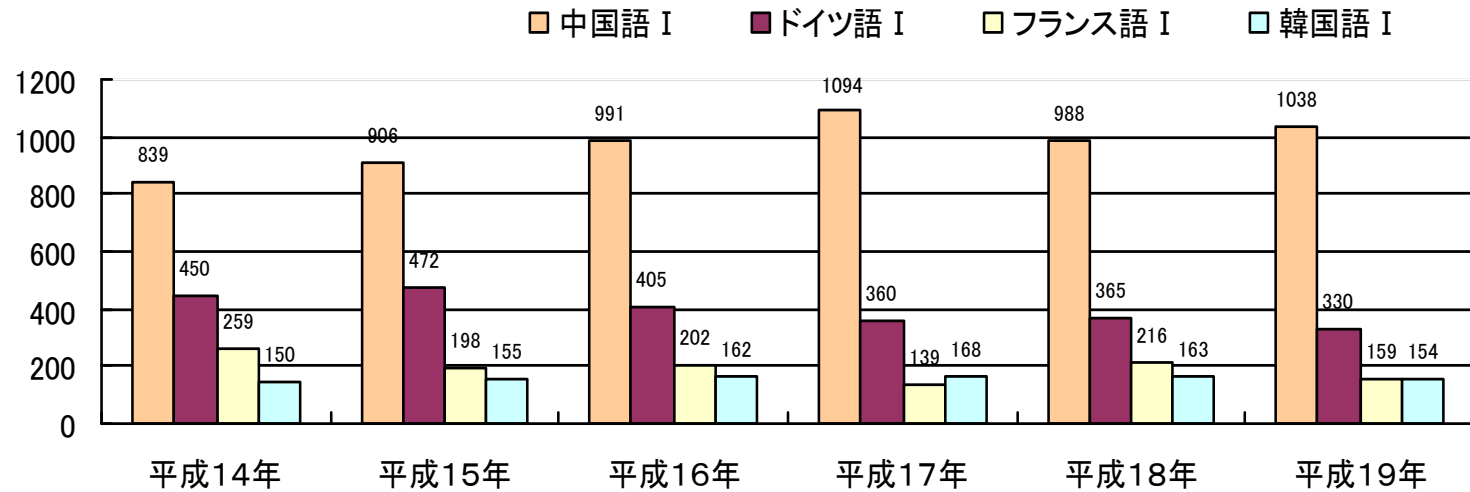
今後の課題

1. クラスの人数と授業時間数
2. 教えるべき内容の規準化
3. 課外での自学の強化
4. 中国文化の紹介

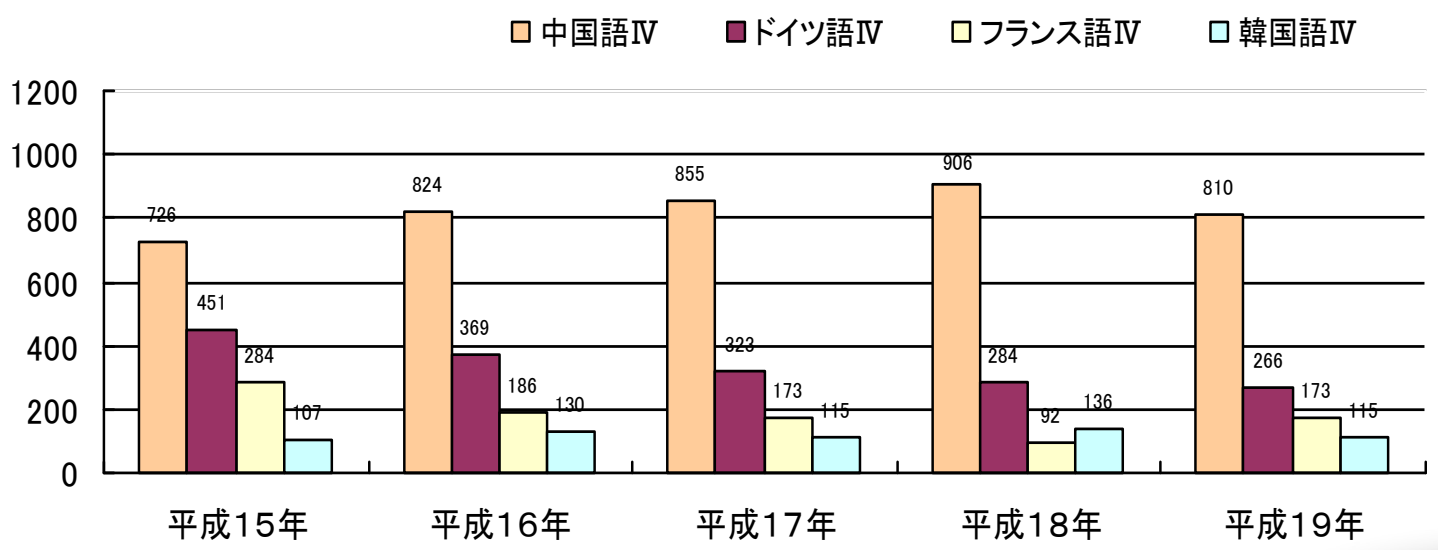
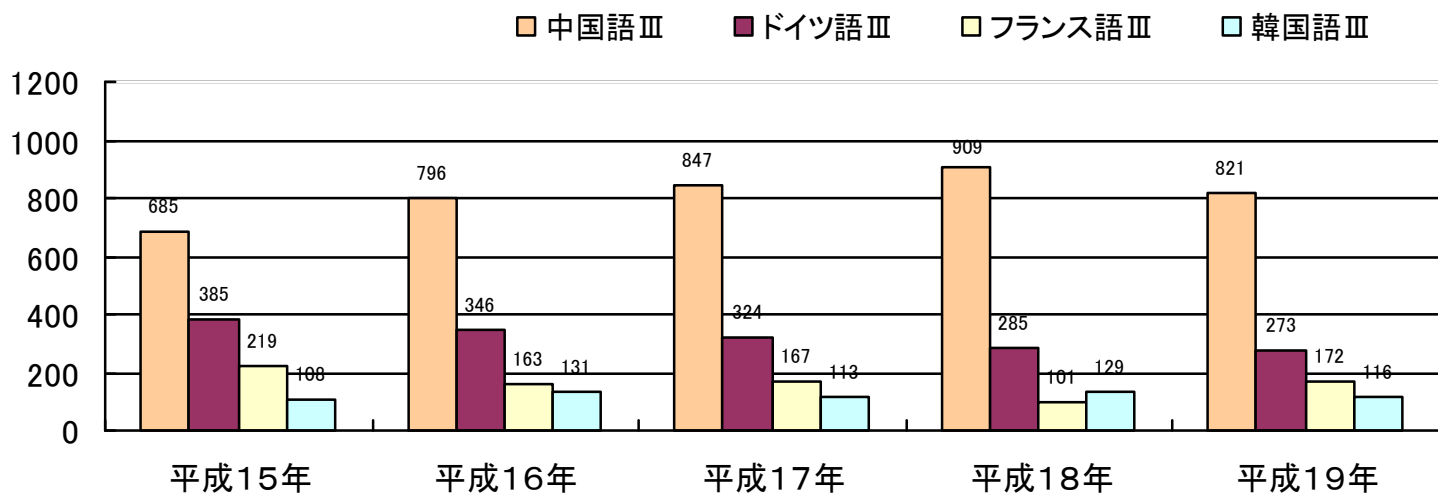


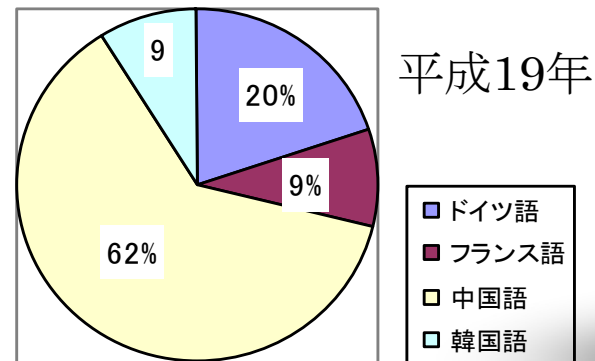
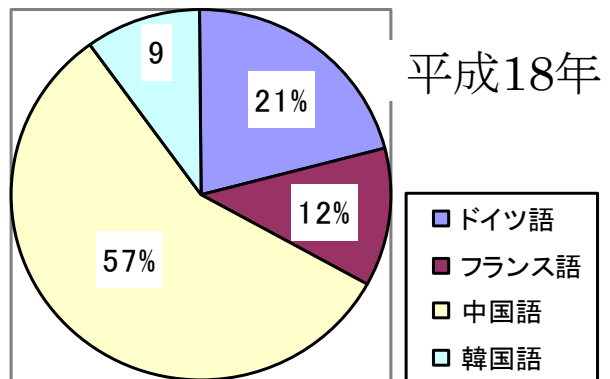
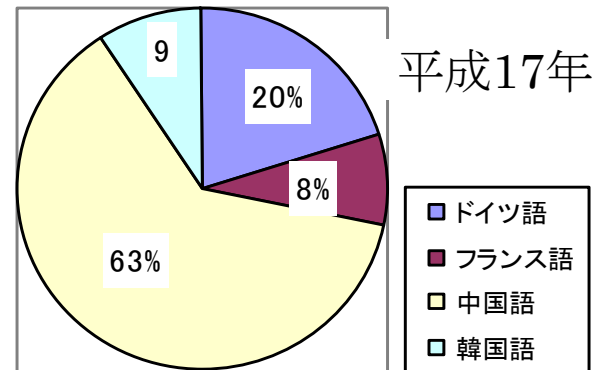
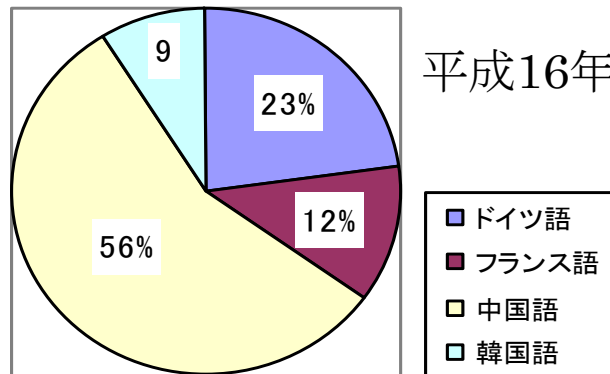
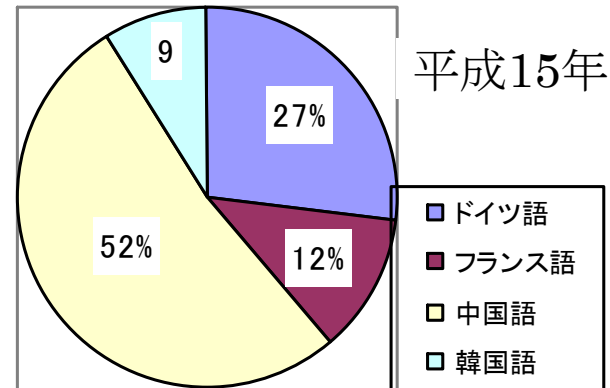
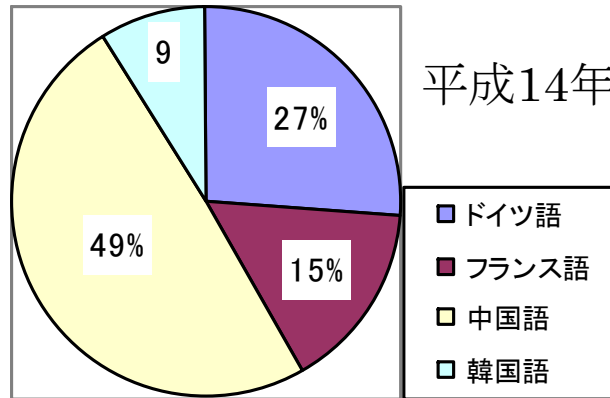
現状

1. 中国語の履修者数



「第4回長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム」 2007.12.26





2. 学生の選択理由

- (1) 中国の著しい経済成長の影響
- (2) 将来の就職やビジネスに有利
- (3) 中国の歴史、文化に興味がある
- (4) 中国に旅行や留学に行きたい
- (5) 先輩から進められた

以上の選択理由は、現在のますます密接な日中の経済関係を反映しています。また、過去はもちろん、今でもなお、中国は日本にとって大変身近な国であるという考えが学生のなかに定着していると考えられます。



3. 開講数(クラス数)

	一年生		二年生	
	中国語Ⅰ (前期)	中国語Ⅱ (後期)	中国語Ⅲ (前期)	中国語Ⅳ (後期)
教育学部	3	3	1	1
経済学部	6	6	6	6
医学部	2	2	1	1
歯学部	1	1	1	1
薬学部	1	1	1	1
工学部	6	6	6	6
環境学部	2	2	2	2
水産学部	1	1	1	1
合計	22	22	19	19
	44		38	



4. 担当教員

専任	非常勤
1名	10名

この数年間で、10名の非常勤講師が長崎大学で中国語を教えている。この先生たちは、全員豊富な中国語教育経験を持つネイティブな先生なので、学生に最も正しく、実用性ある中国語を教えている。



5. 授業内容と到達目標

一年生(中国語ⅠとⅡ)

授業内容:

ゼロからスタートする学生を対象とするので、はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習います。それから、テキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強します。

発音は学生にとって難しいので、時間をかけて、練習を繰り返し行います。普通は発音の勉強は5週間で終わりますが、その後も毎回の授業で時間を取って発音の復習を行います。

最も基本的な文法事項も一年生の勉強の重要な部分です。そのため、教科書以外に、出来るだけ例文を補充して文法事項を詳しく説明し、実践会話の練習をさせます。そのほかに本文の内容と関連ある文化的背景などを学生に紹介します。

到達目標:

1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようになる。
2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。
3. 中国語で基本的な挨拶と簡単な日常会話を話せるようになる。
4. 最も基本的な構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。



二年生(中国語ⅢとⅣ)

授業内容:

中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかります。現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語を勉強するため、より高度な中国語の習得をめざします。

語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させます。基礎的文法をしっかり身につけることも二年生の授業の目標です。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせます。

到達目標:

1. 簡単な日常会話を話せるようになる。
2. 基本的な中国語を読めるようになる。
3. 基本的な中国語を書けるようになる。
4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。



6. 授業方法

一年生の前期：

正しい発音が出来ようになるために学生一人ずつ発音させ、チェックします。毎回リスニングの小テストと練習を欠かさず行います。

一年生の後期と二年生全期：

会話能力をより確実に身につけさせるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおきます。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせます。発言や質問が活発になるような自由でオープンな雰囲気を作り、学生が発言する機会をできるだけ多く設けます。ペアワークやグループワークを活用します。そのほかにも出来る限り、各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、現代中国事情も学生に紹介します。



7. 課外の勉強

- (1) 毎回の授業の後、宿題を出して復習させる
- (2) 毎回授業の始めに、勉強した内容について確認小テストを行う
- (3) 課外勉強会を開く
- (4) WEB上で中国語練習問題をやらせる ※



8. 短期留学

去年、長崎大学と中国北京教育学院が短期中国語語学研修の協定を結びましたので、去年と今年の九月に、本学の学生が北京教育学院で三週間の短期留学をしました。

参加人数はまだ多くはありませんが(去年8名、今年18名)、短い期間で彼らは、短期留学を通して外国語学習の大切さや異文化コミュニケーションの難しさを痛感したと同時に、中国語の実用レベルをかなり高めました。

北京短期留学のスケジュール

	午前 9:30-12:15	午後 14:00~15:30		午前 9:30-12:15	午後 14:00~15:30
3日(日)	北京動物園訪問	開講式 歓迎食事会	13日(水)	テキスト20課	13:30 雍和宮訪問
4日(月)	発音復習と日常会話	実践活動(情報収集)	14日(木)	テキスト21課	太極拳クラス
5日(火)	テキスト14課	13:15 音楽会	15日(金)	8:00~ 万里の長城訪問	
6日(水)	テキスト15課	17:00 餃子作り	16日(土)	14:00~ 茶館訪問	
7日(木)	テキスト16課		17日(日)	実践活動(午前準備、午後中国一般家庭訪問)	
8日(金)	実践活動の準備	道聞きと買い物の実践 19:00~京劇鑑賞	18日(月)	テキスト22課	カンフークラス
9日(土)	北海公園、天安門、王府井訪問		19日(火)	テキスト24課	切り紙クラス 19:00中国人学生と交流
10日(日)			20日(水)	テキスト25課	
11日(月)	テキスト17課	カンフークラス	21日(木)	筆記試験と面接試験	太極拳
12日(火)	テキスト19課	切り紙クラス	22日(金)	10:00閉講式	12:00 食事会



今後の課題

1. クラスの学生人数と教室で学ぶ授業時間数
2. 教えるべき内容の規準化
3. 課外での自学の強化
4. 中国文化の紹介

長崎大学大学教育機能開発センターが設置されてから6年間、本学の中国語教育がだんだん学生中心の教育の軌道に乗りつつあります。私たちは教育の内容、方法などでいろいろな努力していますが、必ずしも十分理想的、効果的な中国語教育を行っているとは言えず、様々な課題も残っています。これから非常勤講師の先生方と一緒に初習中国語の現状を分析し、新しい課題を掘り出し、それらの課題に向き合って、時間を掛けて少しでも解決していきたいと思っています。

—おわり—

